

みらい

市議会だより

第94号
2019
2.5

平成30年12月定例会

12月補正予算 災害復旧関連経費に8億6,165万円 p.2~3

一般質問 11人の議員が市政を問う p.6~9

市民と議会の懇談会報告 p.10~11

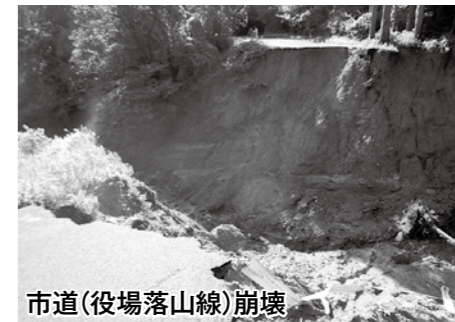
常任委員会報告 行政視察報告 p.12~13

〈特集〉議員がおじゃましました! 卓球バレー大会と福祉体験 p.15

1月10日
文殊堂
十日多びす
(P4参照)

平成30年度
12月
補正予算

7月豪雨・台風24号 災害復旧関連経費に8億6,165万円



市道(役場落山線)崩壊

12月定例会のごくじき

平成30年12月定例会を12月3日から12月26日までの24日間開催しました。今定例会では、平成30年度補正予算、条例改正など10議案と追加提案の7議案を審査し、いずれの議案も原案のとおり可決、同意しました。

また、議員提案の「宮津市議会委員会条例」改正議案と「下水道施設の改築に係る国庫補助の継続に関する意見書」を全員賛成で可決し、意見書を政府に提出しました。一般質問は、12月10日、11日に11人の議員が行いました。今定例会の傍聴者は38人(9月定例会は72人)でした。

平成30年度12月補正予算審査Q&A

総務文教分科会

借入金利息の減額
▲2281万円

Q 市債利子減額の主な要因は？

A 災害復旧費を繰り越したことで借入額が減少したこと、利率を0・8%で積算していたが借り入れ実績が0・01%、0・4%の低い利率となったもの。

府議会議員選挙の一部費用に
500万円

Q 府委託金の対象となる人件費は？

A 平成29年度の災害ごみの焼却処分が残っており、7月豪雨のごみはそれが終わるまで、3月までの準備経費としている。

Q 処分の用途は？

A 7月豪雨による由良海岸への漂着ごみの処分に
1404万円

Q 新規就業者への漁船リースの支援に
90万円

Q どこでどんな漁業を営もうとしているのか？

A 「海の民学舎」の卒業生で、養老地区ではえ縄漁業を営んでいる個人事業者である。

公共土木施設災害復旧事業に
6億436万円

Q 災害復旧事業は、原形復旧だけでなく、施設の機能強化もできるようだが、今回はそのようになっているのか？

A 基本は原形復旧であるが、大手川の河床洗掘が著しい箇所などは、原形復旧とみなされる機能(効用)復旧のための河床保護の査定決定を受けている。

また、議員提案の「宮津市議会委員会条例」改正議案と「下水道施設の改築に係る国庫補助の継続に関する意見書」を全員賛成で可決し、意見書を政府に提出しました。一般質問は、12月10日、11日に11人の議員が行いました。今定例会の傍聴者は38人(9月定例会は72人)でした。



7月豪雨の由良海岸

Q 今の清掃工場での状況なら、新清掃工場では処分できないのでは？

A 処理能力の範囲内は処分するが、市民から搬出されるごみ処理に支障がないことが大前提である。

スクールバスの購入に
2000万円

6路線(波見線、日ヶ谷線、田井線、島陰新宮線、日置世屋線、上宮津線)が平成31年度から廃止予定であることから、遠距離通学の児童生徒の通学手段を確保するために車両を購入するもの。



スクールバス

Q どのような車両を購入するのか？

A 今後5年程度の児童生徒数の推移を踏まえ、積雪時も考慮し、4WDの車両にする予定である。また、市が責任を持って通学手段を確保し、確実に運行できるように、現在、運転手確保に向け、貸し切りバス事業者やシルバー人材センターなどと協議している。

12月補正予算	
補正総額	8億6,664万円
一般会計	1,518万円
特別会計・事業会計	
主な内容 <一般会計>	
◆スクールバス購入事業	2,000万円
◆認定こども園整備事業	507万円
◆[災害]被災全壊家屋等処理事業	2,815万円
◆[災害]ごみ等収集運搬処理事業	1,404万円
◆[災害]水産業施設指定管理料	335万円
◆[災害]農地農業用施設災害復旧事業	1億225万円
◆[災害]林地施設災害復旧事業	4,902万円
◆[災害]公共土木施設災害復旧事業	6億436万円
◆[災害]公園施設災害復旧事業	3,040万円など
※災害：7月豪雨、台風24号に係る災害復旧関連経費	

同意 人事関係

次のとおり人事案件に同意しました。

◆財産区管理委員会委員

○上宮津財産区

上杉晃一氏

落合文彦氏

藤田徳朗氏

上野文明氏

松岡宣氏

関野掲司氏

中川昭一氏

○由良財産区

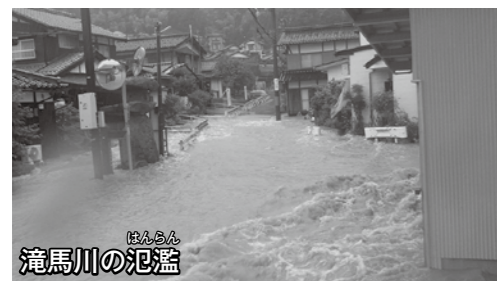
竺原正和氏

○吉津財産区

古崎広文氏



府中子ども園の
児童用トイレ



滝馬川の氾濫

条例関係
産業建設福祉委員会

地域ささえあいセンター条例の制定

Q 福祉センターは、条例の廃止と併せ、重要な公の施設に関する条例から削除されているが、重要な公の施設に地域ささえあいセンターが含まれていないのはなぜか？

A 重要な公の施設の定義は、一般に広く市民に使っていたり、耐久性のものである。現在の福祉センターの貸館機能は、福祉・教育総合プラザに移転した。地域ささえあいセンターは、地域支え合いの拠点として福祉活動を行っていたり、一般的な貸館は想定していない。



急傾斜地崩壊対策事業費分担金徴収条例の制定

Q 必要と認めるときは、分担金の全部若しくは一部を免除できることなどが、どんな時に適用されるのか。災害発生時も適用されるのか？

A 災害時のケースとしては、急傾斜地崩壊対策工事中に、不可抗力による手戻り工事が発生した場合の、二重負担に対する軽減措置などを想定している。その他想定できないケースは、その都度判断していく。

委員間討議

○分担金徴収の根拠条例ができたことは評価するが、災害があれば生活が苦しくなるので、そうした場合には全額免除にする運用をしてほしい。
○災害があった場合でも、所有者、地域が直すべきとの考えからすると、一定の負担はやむを得ないのではないか。

可決

意見書

◆下水道施設の改築に係る国庫補助の継続に関する意見書

【発議者】 議会運営委員長 徳本 良孝

【要旨】 国の財政制度等審議会で、下水道事業は受益者負担の観点から、主要な施設の改築費用は使用料で負担すべきとの基本的考え方が示された。
今後、改築に係る国庫補助が削減または廃止されると、下水道使用料の大幅な増額改定や一般会計繰入金増額など、極めて厳しい状況になることが予想される。

よって、国は、下水道の公共的役割に対する国の責務、市民生活維持の観点から、下水道施設の改築に対する国庫支援を確実に実施されるよう強く求める。

討論

急傾斜地崩壊対策事業費分担金徴収条例で討論

賛成

日本共産党 長林 三代
災害はいつどこで発生するか分からない。住民の生活基盤を守り、安心安全な暮らしを維持していくのは地方自治体の責務である。災害で被災した場合は、分担金を全額免除の運用にしようとする。

表紙

文殊堂

十日ゑびす

江戸時代に始まったと言われている、日本三文殊のひとつ、智恩寺の「十日ゑびす」が、1月10日、智恩寺文殊堂で行われ、商売繁盛・学業成就・家内安全を祈る人など大勢の参拝者で賑わいました。
参拝者は、参道に列を作って並び、文殊堂前で線香をお供えした後、その煙を体に浴び無病息災を祈っていました。堂内では、文殊菩薩に手を合わせ、福徳長寿の福棒を福娘たちから授けられ、縁起物の熊手や笹飾りを買って求めたりしていました。また、外では甘酒が振る舞われ、体を温めていました。



政治倫理に関する特別委員会の設置

- 委員長 星野 和彦
副委員長 徳本 良孝
長林 三代
松浦 登美義
長本 義浩

会派構成の変更

安達稔議員の辞職に伴い、宮津新生会が解消。徳本良孝議員が市民連合クラブに加わり、会派名を「市民新生クラブ」に改称しました。
市民新生クラブ
幹事長 徳本 良孝
河原 末彦
北仲 篤
(蒼風会、公明党、日本共産党宮津市会議員団、無所属クラブは従来どおり)

関係機関の議会議員の選出

- ◆与謝野町宮津市中学校
組合議会議員 徳本 良孝
◆宮津与謝環境組合議会議員 星野 和彦

委員会の異動

議会運営委員会、議会情報化委員会の構成が変わり、副委員長を
選任しました。

- ◆議会運営委員会
委員長 徳本 良孝
副委員長 久保 浩
長林 三代
松浦 登美義
坂根 栄六
- ◆議会情報化委員会
委員長 星野 和彦
副委員長 松浦 登美義
向山 禎彦
長林 三代
河原 末彦

全議案を全員賛成で可決

議案番号	件名	結果
76	財産区管理委員会委員の選任	同意
77	京都市市町村職員退職手当組規約の変更	可決
78	土地改良事業の施行	//
79	地域ささえあいセンター条例の制定	//
80	福祉センター条例の廃止	//
81	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正	//
82	急傾斜地崩壊対策事業費分担金徴収条例の制定	//
83	H30一般会計補正予算（第3号）	//
84	H30下水道事業特別会計補正予算（第2号）	//
85	H30水道事業会計補正予算（第3号）	//
86	市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正	//
87	一般職職員の給与に関する条例の一部改正	//
88	H30一般会計補正予算（第4号）	//
89	H30国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
90	H30介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
91	H30下水道事業特別会計補正予算（第3号）	//
92	H30水道事業会計補正予算（第4号）	//
市議8	議会委員会条例の一部改正	//
市議9	下水道施設の改築に係る国庫補助の継続に関する意見書	//

※ 市議第8号、9号は議員が提案した議案です。
〈議第76号及び市議第8号は12月3日、その他は12月26日に議決。〉

研修会に参加しました



日時 平成30年11月16日(金)

場所 京丹後市役所
「2025年を見据えた
これからの地方自治」

講師 東京大学名誉教授 大森 彌氏

『議員定数は、住民のために何をすべきか、何人必要かの議論が重要。選挙で選ばれた議員は、住民の声を自治体の政策に反映し、意見の言える議会を作ること。予算案、企画案の執行者で立場の強い首長に、議会は住民のために一つになり、監視やチェックをすることが大切な役割。』
住民のために何をすべきか。本質に正面から取り組む大切さを学びました。(参加議員：久保、向山、横川、長林、坂根、長本、河原)



市財政の健全化に向けた取り組みと、下水道事業を問う



市民新生クラブ 徳本 良孝

質問 平成29年度決算では法律に基づく財政指標は全てクリアしていたはずなのに、わずか半年で市の財政状況が危機的な水準になったとの説明を市政懇談会でされているが、具体的にどの指標がどのような経緯で極端に悪化したのか問う。

総務部長 平成29年度決算の概要を示した際に、法に基づく全ての指標で基準をクリアしていると説明した。「基準をクリア」とは法における早期健全化基準及び財政再生基準に至っていないことである。しかし、実質公債費比率の20・3%や将来負担比率の209・1%という数値は平成28年度決算時より悪化し、更に経常収支比率が100%を超え、今後は収支が赤字になる見込みという厳しい財政状況を、市政懇談会で説明した。

建設部長 下水道事業特別会計を企業会計化した際には、基準外繰り入れは0としたい。料金などは受益と負担のバランスを考慮する。

市長が目指す「民間企業との交流や民間視点での行財政改革」とは



公明党 松本 隆

質問 市長は「民間企業との交流や民間視点での行財政改革」を提唱しているが、①民間企業の意識やノウハウなどの導入。②住民福祉の増進や地域を活性化していくために、職員の地域づくり活動などの参加。③民間経営の視点から学ぶ職員の民間企業への研修実施など問う。

市長 ①民間企業は市場競争の中で経営のノウハウを磨き上げられており、コスト削減や営業力、顧客サービスの取り組み姿勢など、収益面に力点をおき経営している。民間に任せられるものは民間に委ね、行政は行政のやるべきことを実施していく。その上で民間の優れている点は行政にも積極的に取り入れていく。②市職員は住民福祉の実現をつかさどる市政運営の担い手であることから、全力で業務に専念しなければならぬ。一方、地域に帰れば、地域社会の一員であり、地域の元気づくりを体現する一市民として、消防団や地域づくりの取り組みなどに積極的な関わりを望む。③民間との共同研修や民間と一緒に事業を進めるなどの取り組みを通じて職員の意識改革を進めてきた。今後も民間との交流などを通じて、職員の意識改革を進めていく。

市民と職員にしわ寄せをしない財政再建の取り組みをするべき



日本共産党 小濃 孝之

質問 本日に財政破たんすると見通しているのか。

総務部長 何としても「財政再生団体」にしてはならないと強く考えている。そのためにも、市民のみならず、市民のみなさんにもある程度の負担をいただくことも含めて、あらゆる事業を見直していきたい。

質問 市民サービスの低下・負担増をすることなく見直しを

行財政改革の具体策を問う



無所属クラブ 久保 浩

質問 新年度予算編成での事務事業の考え方を問う。また、財政好転時期まで職員の新規採用中止、嘱託職員・臨時職員への対応を提案する。

総務部長 財政健全化に向け費用対効果を検証する中で全庁的に事務事業を精査する。職員の新規採用中止は、職員の年齢構成にひずみを生じさせ、将来、組織運営を維持することが困難となる懸念から適切でないと考える。

質問 ネーミングライツによる増加策の検討状況は。

総務部長 他市の事例も参考に公共施設を一カ所選定し、31年度試行的に実施する方向で検討している。

財政健全化、観光・経済・治水対策など平成31年度方針を問う



蒼風会 向山 禎彦

質問 平成31年度予算の財政健全化に対する市長の考え方は。

市長 民間の経営感覚で覚悟を持ち行財政健全化に取り組む。

質問 観光対策は。

理事 京都府、商工会議所、天橋立観光協会の事業者向け制度や対策を支援する。

質問 商工業・農業・漁業対策は。

産業部長 商工会議所が行う経営基盤強化、人・農地プランや海の民学舎の推進など継続支援する。

質問 総合戦略達成への考え方は。

理事 今後は効果の高い施策を優先する。

質問 世界で最も美しい湾クラブ加入の具体の対策は。

理事 モン・サン・ミッシェル姉妹湾協定を中心に、観光情報PR、訪問団受け入れ、湾クラブ世界大会参加と観光誘客、寺院などの民間レベルの連携を進める。

質問 河川対策中長期計画の進捗状況は。

建設部長 災害復旧最優先で遅れているが、滝馬川の治水対策を進めたい。

質問 第二期宮津市スポーツ推進計画の効果と重点策は。小中一貫教育に運動・芸術の取り入れは。

教育次長 地域の活性化を主とし、市民が誰でも親しめる取り組み、情報共有化に努める。運動・芸術を含め知・徳・体の学校教育を進める。

マリオットホテルの進出を問う

質問 ホテルの進出に関わって、市民や関係団体の声を聞くべきだ。

副市長 民間同士の

バス6路線維持困難への対応は

質問 住民説明会で示した三方式①現在路線の統廃合及び減便で維持②事前予約による乗り合いタクシー型③地域助け合い型の見直しを問う。

理事 地域事情を踏まえるが、①方式で

10/22~11/2 市民と議会の懇談会を開催 市内12会場

市民と議会の懇談会を市内12会場で開催しました。多くのおみなさんにご参加いただきありがとうございます。今回は、事前に各地区自治連合会長さんなどと相談し、会場ごとにテーマを設定し、各地区の現状や課題の意見交換を行いました。

貴重なご意見を今後の市政運営に生かせるよう議会として取り組んでいきます。いただいた意見を一部ご紹介いたします。

災害に関すること

市民【養老】 防災行政無線を自治会の有線放送に繋げられないか。自治会へFAXなどで情報提供してほしい。防災メールを登録されていない方には情報が伝わらない。自治会へ、国・府の道路の規制解除など情報提供をしていただけたら、有線放送などで対応できる。

議会・担当部署に伝え対応を依頼する。

市民【浪花会館】 西部地区は7月豪雨で大きな災害を受けた。道路側溝の泥上げは、家の所有者が行うのが基本である。

地域に関すること

市民【栗田】 宮津エネルギー研究所の跡地利用について、今後どのように進められていくのか。

議会・自治連合協議会、商工会議所、水産振興財団、市議会の4団体の意見をまとめ、年初に市長から府知事に報告し、府から関電に伝えていくこととなる。



栗田地区公民館

市民【上宮津】 地域会議の交付金でホンモノなどの事業をしてきたが、事業継続ができない。交付金を一律10万円ではなく、地域の事業に見合った金額にしてほしい。

として取り除いてくれない。空き家や高齢化で作業に困難を伴い苦しんでいる。また、浸水防止に土のうを置いていくのが、回収をどのようにしていくのか。

議会・市に連絡すれば、土のうの回収はしてくれる。ただし、個人個人が連絡するのでなく、自治会などでまとめていただいた方がよい。

市民【日ヶ谷】 国道の通行止めは、豪雨だけでなく、3メートルの高波でも通行止めとなり、孤立状態となるが、緊急の場合どうしたらよいか、対応を考えてほしい。

市民【日ヶ谷】 国道178号線道路の抜本的な対策をしてほしい。



日ヶ谷地区公民館

議会・交付金要綱の見直しなど、意見として担当部署へ伝える。

市民【上宮津】 Iターンで上宮津に来た。若者が協力できることは何か。

議会・資源は豊富だが魅力がさちんと伝えられていない。Iターン者がIターン者と呼ばれる成功事例もある。高齢化対策と情報発信が弱いことが課題である。また、情報交換、コミュニケーションの場づくりが必要である。

市民【吉津】 タケ丘団地の跡地利用計画は、行政主導ではなく、地元と市、議会が一緒になって進めてほしい。つづじが丘のように分譲地だけで終わるのではなく、須津地域



吉津地区公民館

議会・議会としても国道178号の強靱化を求める意見書を全会一致で可決し、国に提出した。

生活に関すること

市民【世屋】 ごみステーションまで3kmもある。ごみを保管して一杯になったら電話している現状である。新しいステーションが設置できないか。

議会・担当部署に伝える。個別に相談の上、対応を依頼いただきたい。

市民【由良】 空き家の除却処分には多額の費用が掛かる。費用の負担軽減措置を検討してほしい。

議会・個人の所有家屋の除却に税金を投入する是非は議論になると思う。

医療に関すること

市民【府中】 北部医療センターは救急を除き、かかりつけ医の紹介状が求められる。診療所の安定した医師確保の見通しをしっかりと立ててほしい。

議会・どのような見直しを立てているか確認し、安心安定した北部医療体制が確立されるよう検討を加えていきたい。

の人口を増やすことも考え、中心的施設を持つのも1つの方法ではないか。民間活用も必要。

議会・ワークショップなどの方法もある。担当部署に伝える。

市民【日置】 公民館を日置中学校に移設することが決まったが、いつ移転するのか示されていない。

議会・地域で有効に活用できるように今後も意見交換が必要である。

議会に対して

市民【上宮津】 「市民と議会の懇談会」の回数を増やし、全議員が各地区を回り、地区要望を聞いてほしい。

議会・活動のあり方など、議会として研究する。

市民【上宮津】 議会だよりに懇談会の課題と答えを掲載するべきだ。

議会・各地区には返事を返しているが、検討していく。

市民【宮本会館】 全員協議会の動画配信してほしい。

議会・持ち帰り検討する。

議会見学

吉津小学校6年生のみなさん



12月5日(水)、吉津小学校6年生15人が、社会科「わたしたちの生活と政治」の勉強にいられた。

子どもたちが事前に考えてきた「施設を建設する時は、どのくらいの間話し合って決定するか」、「これまでに一番お金をかけた事業は何か」、「物事が決められないときはどうするのか」などの質問に、星野副議長が答えた後、議場や議長室を見学されました。

子どもたちの感想

○議会という大きなところでも多数決で決めることが意外だった。

○小学校の建て替えに10年も話し合ったこと、ごみ処理場の建設に建物だけで84億円もかかることに驚いた。

○普段の授業では分からないことをたくさん知ることができてよかった。

開催日	会場	テーマ	参加者数
10月22日	(1班) 宮本会館	まちづくり	30人
	(2班) 浪花会館	災害対応	15人
10月23日	(2班) 由良地区公民館	空家・空地の管理	11人
	(3班) 上宮津地区公民館	上宮津への思い	30人
10月24日	(1班) 日ヶ谷地区公民館	地域づくり	15人
	(3班) マ・ルート	高齢者対策	17人
10月25日	(1班) 世屋地区公民館	生活環境	8人
	(2班) 栗田地区公民館	生活環境	36人
10月26日	(1班) 養老地区公民館	災害対応	17人
10月31日	(3班) 吉津地区公民館	タケ丘団地跡地の再開発	13人
11月 1日	(3班) 日置地区公民館	橋北を元気にする地域振興策	20人
11月 2日	(2班) 府中地区公民館	地域の活性化・防災	17人
計	12会場		229人

班編成 (◎班長)

1班 ◎松浦登美 義浩
久保 秀哉
横川 北彦

2班 ◎河原末彦 和彦
星野 孝浩
小濃 義浩
長本 徳本
徳本 義浩

3班 ◎長林三代 禎彦
向山 隆
松本 栄六
坂根

(参考: 前回参加者数 9会場150人)

産業建設福祉
11月6日～8日

先進地に学ぶ!

常任委員会視察報告

総務文教
11月13日～15日

福岡県みやま市
「みやまスマート
エネルギー事業」



みやま市に設置の太陽光パネル

【目的】 再生可能エネルギーの地産地消推進施策の地消の部分に当たる電力の小売り事業の課題克服の方向性を調査・検討し、宮津市での事業化の可能性の検討材料とする。

【内容】 事業会社設立の一番の目的は、地域課題の解決であり、30人の賃金を払うためには、最低限の売り上げが5,000～6,000kw必要である。みやま市では、公共施設や農協の他、近隣自治体との契約で確保してきた。更に、民間にも依頼している。

【成果等】 最低限の売り上げ確保に向けて、市民合意を得るためのリーダーシップが問われる。

福岡県豊前市
「老朽危険家屋等
除却促進事業」



【目的】 適切な管理が行われていない空家などが防災・衛生・景観など生活環境に問題を生じさせている。老朽危険家屋などの除却促進を進める施策を学び、宮津市の取り組みの参考とする。

【内容】 行政代執行の条項を適用した実績はなかったが、代執行が目的ではなく、あくまで、所有者自身が適正に管理することを重点に置いている。誘導施策として、老朽危険家屋の解体費の一部補助や解体後の土地に対する固定資産税の減免制度を設け、実績を上げている。

【成果等】 老朽危険家屋の解体費補助や固定資産税の減免は今後の研究課題である。

福岡県行橋市
「みんなで支え合う
福祉のまちづくり条例」



地域でのワークショップの様子

【目的】 宮津市は高齢化率は40.8%、要介護認定率は25.2%と高い水準にある中で、地域での支え合いが大切であることから、「福祉のまちづくり条例」を制定している行橋市の取り組みを学び宮津市の取り組みに活かす。

【内容】 福祉のまちづくり条例は、市民・事業者・市の責務を明確にし、協力しながら施策が進められている。その原動力が地域包括支援センターを中心に定期的に小学校区単位でワークショップが開かれていることである。

【成果等】 住民参加型を目指すため、住民の声を聴く手法として「ワークショップ」は有効である。

和歌山県田辺市
「インバウンドを
見据えた観光施策」



外国人担当者によるアドバイス

【目的】 インバウンドに力を入れ、世界遺産を生かした取り組みを研究し、今後の宮津市の方向性を探る。

【内容】 熊野の地に暮らす人々の笑顔あふれる暮らしと地域を支えることを最大の目的としている。世界遺産の道に人の歩く風景を作るという大きな目標を掲げ、一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューローを立ち上げ、田辺市への誘客の取り組みをしている。

【成果等】 外国人観光客が地域を深く理解し、次また来たいという思いにつながっている。この動機づけが宮津市でも必要であり、小規模事業者の目線で物事を考え、一人一人が観光大使となり地元の良さを広げることが求められる。

三重県玉城町
「オンデマンド
バスシステム」



安心・元気な町づくり
『玉城町元気バス』
～地域福祉への取り組み～
三重県玉城町

【目的】 少子高齢化が進む中、市民の足を確保する最善の方法は何か、オンデマンドバスシステムを参考に研究する。

【内容】 年会費無料だが町内しか走らない、満足度80%を目指した予約バスシステムである。自宅に近い場所をバス停とし、現在200を超えている。期待は大きい課題も多く社協に委託している。財源不足にふるさと納税を利用し、保険者努力支援制度も活用し、医療費の削減につなげている。

【成果等】 宮津市のように南北に長い地域で、移送が効率よくできるのか。そのために、すべての部署が知恵を出し合えるのか課題である。

三重県志摩市
「インバウンドを
見据えた観光施策」



【目的】 観光名所を生かし、雇用の創出を図るにはどのような取り組みが必要であるのかを研究する。

【内容】 *SDGsの採択により、自然を生かした国立公園満喫プロジェクトの開催や、食の創生会議による産業後継者の育成、灯台ワールドサミットや安乗人形芝居など歴史文化、豊かな自然の体験など、持続可能な開発目標で事業を進め、農林水産業と一体で少量多品種を生かした新商品の開発に力を入れている。

【成果等】 宮津市でも、少量多品種の取り組みを進めることで、後継者を確保できないか。また、観光消費額を上げる事業の取り組みが必要である。

※SDGsとは・・・
世界が2016～2030年までに達成すべき17の環境や開発に関する国際目標。

行政視察とは
議員が他自治体など先進的な取り組みをしている地域へ出ていき、その地域の行政・経済・文化などの実情を直接把握することです。



担当職員との意見交換

で、市の担当職員と意見交換を行いました。

各常任委員会が視察を行った先進地の事例を報告した後、委員会で設定した所管事務調査のテーマ



先進地の事例報告

1月15日(火)、福祉・教育総合プラザの第1コミュニティルームで、市の理事者や職員を交え、視察報告会を開催しました。

視察報告会を開催しました

議員が
おじゃま
しました!

第25回卓球バレー大会と 福祉体験



宮津市視覚障害者チーム VS 市議会チーム

12月1日、市民体育館で、宮津市身体障害者団体連合会と宮津市の主催で、卓球バレー大会と福祉体験が行われました。参加者は18チーム約200人。「やったー」「キャー」と楽しくにぎやかな一日となりました。

優勝は宮津中学校生徒会執行部チーム、2位は民生児童委員Aチーム、3位は宮津市健康福祉部チーム。敢闘賞に肢体障害者協会チームが選ばれました。市議会チームは残念ながら初戦で敗退しました。

優勝は宮中生徒会チーム

今までは車いす体験でしたが、今回初めて、福祉体験を行いました。

特殊なアイマスクを着けると視界が極端に狭くなります。腰を曲げ、足に重りを付け、障害のある高齢者となって、洗濯物を干すという体験でした。

視覚障害の方は、こんなに視野が狭いのかと驚きました。周囲の状況がほとんどわかりません。交通事故など気をつけなければと、改めて思いました。

障害者に寄り添って



障害者と健常者のふれあいを大切にして、第1回目は宮津小学校の小体育館で、10チームでこじんまりと開催されました。それから25年、みんなが喜んで参加してくれること、「また来年も参加するよ」と言ってくれる。これを励みに頑張ってきたそうです。

小中学生が障害者と一緒に1つの大会に参加することは、他市町にはないようです。これは身体障害者団体連合会として大変誇れることです。

ふれあいを大切に



福祉体験での洗濯物干し

炊き出しをやるつ

身体障害者団体連合会では、自立支援協議会の生活部会での取り組みとして、多発する災害に向き合い、炊き出しすることを来年度の活動目標に掲げています。地域の人たちと一緒に、まず実際に行動することからやってみようという話合っています。

わたしたちも、できることから、はじめましょう。すべての人が安心して安全な生活を送れるように。

(記 長林三代)

平成30年 行政視察受け入れ状況

視察日	視察団体(委員会・会派等)	人数	視察項目
1月26日	京丹後市議会(日本共産党)	4	・子育て支援センター「にっこりあ」
2月 8日	大分県津久見市議会(総務常任委員会)	8	・激甚災害対策特別事業緊急事業
5月 8日	兵庫県丹波市議会(産業建設常任委員会)	12	・法定外公共物等整備事業費補助金交付制度
7月24日	宮崎県小林市議会(創生こばやし)	6	・健康づくり運動推進事業 ・竹資源有効活用プロジェクト
7月26日	和歌山県海南市議会(自由クラブ、日本維新の会 6人) 和歌山県紀美野町議会(無会派 3人) 和歌山県有田川町議会(無会派 2人)	11	・道の駅「海の京都宮津」及び農産物等直売所等の経過・補助
7月31日	岡山県笠岡市議会(讃志会)	3	・観光まちづくり推進事業
8月 3日	長崎県諫早市議会(公明党)	3	・子育て支援センター「にっこりあ」
8月 9日	山梨県南アルプス市議会(市民創政の会)	3	・観光まちづくり推進事業
8月28日	静岡県沼津市議会(志清政会)	3	・世界で最も美しい湾クラブの取り組み ・海・里・山の地域資源を活かした里山経済圏の形成
10月 5日	新潟県新発田市議会(新発田政友会、つなぐ会)	11	・竹資源有効活用プロジェクト
10月10日	長崎県大村市議会(大政クラブ、至誠会)	6	・世界で最も美しい湾クラブの取り組み
10月17日 18日	群馬県前橋市議会(清新クラブ)	7	・竹資源有効活用プロジェクト ・観光まちづくり推進事業
10月23日	鳥取県倉吉市議会(くらよし創生)	2	・竹資源有効活用プロジェクト
10月24日	大分県由布市議会(産業建設常任委員会)	7	・観光まちづくり推進事業
11月 5日	群馬県片品村議会(観光産業常任委員会)	8	・観光振興
11月 7日	新潟県加茂市議会(総務文教常任委員会)	7	・防災対策
11月21日	徳島県美馬市議会(福祉文教常任委員会)	10	・部活動外部指導員制度の活用
計	17団体	111	



にっこりあ



まごころ市

ひとこと

元気な上宮津を地域のみんなで

上宮津21夢会議

代表 粉川正太郎さん

上宮津21夢会議は、今年で16年目を迎えます。平成14年に上宮津自治連合会で策定された上宮津地区振興計画に沿って元気な地域づくりのためのボランティア団体として平成15年3月に誕生しました。

現在、会員数は104人で上宮津地区外からも30人の方に会員になっていただいています。

夢会議は、広報誌の発行など広報活動を行う「広報部会」、丹鉄法面の除草作業や美化ウォークなど里山に関する活動を行う「里山里川部会」、杉山の貴重な上宮津杉の保全、自然観察・古道ウォークなど杉山に関する活動を行う「杉山大江山部会」、味噌・こんにやく作りや地区行事での出店などものづくりに関する活動を行う「ものづくり部会」、上宮津地区の歴史文化を後世に引き継ぐための調査研究などを行う「歴史文化部会」、そして、若いメンバーが新しい発想でさまざまな取り組みを展開



第1回かみやつさんぽ上宮津城跡
(みらい部会主催)

して夢会議を次世代に引き継いでいこうとの思いから平成30年8月に発足した「みらい部会」の6つの部会で活動をしています。

ここ数年に、上宮津小学校の廃校、大江山スキー場の閉鎖など厳しい出来事がありました。地域の人が自ら愛し誇れる上宮津を築くため楽しく夢とロマンを語りながら上宮津の発展に向けて取り組んでいます。

楽しく温かい「かみやつ人」がお待ちしています。どうぞワクワクな上宮津にお越しください。

3月定例会 会議日程

※開議時刻10:00 (3/15、3/22は13:30~)

・この日程は予定であり、予告なく変更する場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	3/1	2
	本会議 (開会・提案説明)					
3	4	5	6	7	8	9
	本会議 (一般質問)	本会議 (質疑～委員会付託)	常任委員会・ 予算決算委員会分科会	予算決算委員会分科会		
10	11	12	13	14	15	16
	予算決算委員会分科会	(予備日)			予算決算委員会 (補正予算)	
17	18	19	20	21	22	23
	本会議(補正予算等) (委員長報告～採決)				予算決算委員会 (当初予算)	
24	25	26	27	28	29	30
		本会議(当初予算等) (委員長報告～採決)				



議会情報化委員会

委員長 星野 和彦 副委員長 松浦登美義
委員 向山 禎彦 委員 長林 三代
委員 河原 末彦

編集後記

平成31年が期待と希望に満ちてスタートいたしました。

今年は、元号が改元される幕明けの年です。宮津市も、昨年、市長、市議会議員選挙が行われ新体制となりました。議会情報化委員会としまして、更なる議会改革に向け、情報発信などの充実に努めてまいります。皆様からのご意見などいただければ幸いです。ご協力よろしくお願いたします。

本年が、市民の皆様にとりまして実り多い一年となりますことを祈念いたします。

(松浦登美義)